

エコアクション21 環境経営レポート



(2022年1月～2022年12月)



発行：2023年2月6日



緑造園興業株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 事業年度	
2. 認証・登録の対象範囲	
(1) 登録事業所	
(2) レポート対象期間及び発行日	
(3) 実施体制図	2
(4) 役割・責任・権限	
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の実績	6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の環境 経営目標及び環境経営計画	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	11
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	12
10. 具体的取組内容	13

【取組の対象組織・活動の明確化】

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

緑造園興業株式会社
代表取締役 植原成典

(2) 所在地

本 社	香川県高松市林町1073-3	TEL：087-869-4128
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426	TEL：087-899-1128
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2	TEL：0879-52-5340
資材置場	①香川県さぬき市寒川町石田東1497	④香川県木田郡三木町井戸404-1、2、3
	②香川県木田郡三木町井戸407-1	⑤香川県木田郡三木町井戸406-1、3、4
	③香川県木田郡三木町井戸355-1	

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	開発部 部長 新川孝雄	
担当者	総務部 山下美和	TEL：087-869-4128

(4) 事業内容

造園工事業	土木工事業	とび・土工工事業
石工事業	舗装工事業	水道施設工事業
産業廃棄物収集運搬業許可（自社工事物件のみ）		
（許可番号 03703131469・有効期限 2026年12月17日）		

(5) 事業の規模

売上高	4億4,128万円	
工事等の件数	576件	
従業員	48名（うちパート15名）	（2022年12月21日時点）

延べ面積

	本社	東讃営業所	さぬき営業所	資材置場-1	資材置場-2
従業員	25名	22名	1名	無人	無人
延べ床面積	20㎡	215㎡	13㎡	4,179㎡	935㎡
	資材置場-3	資材置場-4	資材置場-5		
従業員	無人	無人	無人		
延べ床面積	843㎡	875㎡	318㎡		

(6) 事業年度

1月～12月

2. 認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

(1) 登録事業所

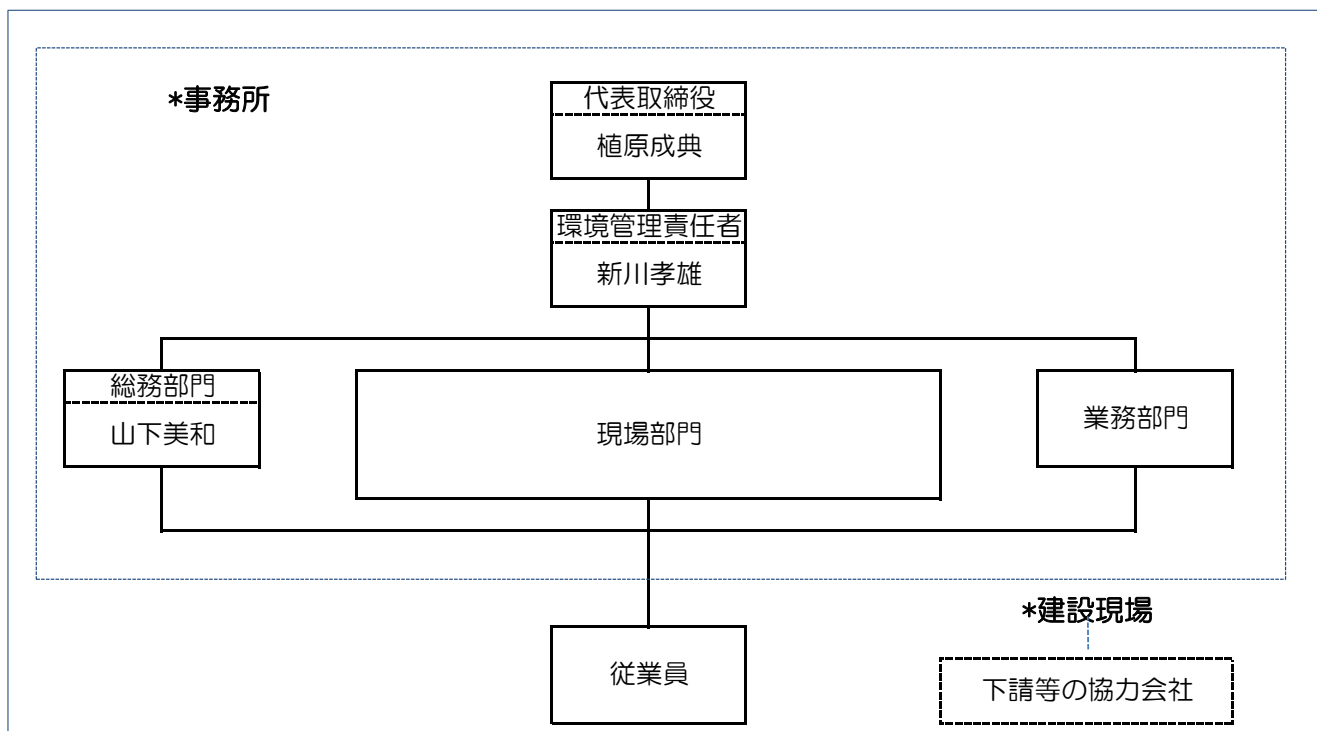
本 社	香川県高松市林町1073-3	
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426	
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2	
資材置場	①香川県さぬき市寒川町石田東1497	④香川県木田郡三木町井戸404-1、2、3
	②香川県木田郡三木町井戸407-1	⑤香川県木田郡三木町井戸406-1、3、4
	③香川県木田郡三木町井戸355-1	

関連事業所 無

(2) レポートの対象期間

2022年1月～2022年12月
発行日 2023年2月6日

(3) 実施体制図



(4) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 全従業員に対する教育・訓練の実施 - 環境経営目標、環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 緊急事態への対応マニュアルの承認 - 環境経営レポートを確認し、承認 - 環境関連法規等取りまとめ表の承認 - 取組に必要な手順書の承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境経営目標、環境経営計画書を作成 - 環境経営の取組結果を代表者に報告 - 環境経営レポートの作成 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 緊急事態への対応マニュアル作成 - 取組に必要な手順書の作成
部門長	- 環境管理責任者の補佐 - 環境への負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境経営の実績集計 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加

3. 環境経営方針

緑造園興業株式会社 環境経営方針

基本理念

当社は、緑のある美しい豊かな環境を受け継ぎ次代に残していくことを責務と考え、深刻化する地球温暖化問題に自覚を持ち、本業である造園土木業を通じて、環境保全活動に全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質量の適正使用・管理と削減
- ⑤ 環境配慮への取組
- ⑥ 地域社会への貢献

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境経営方針は、全ての従業員に周知し、環境経営レポートを広く一般に公表します。

制定日：2014年7月22日
改訂日：2019年1月27日

代表取締役 植原 成典

4. 環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	106,648 0.5%削減	106,112 1%削減	105,576 1.5%削減
一般廃棄物排出量の削減	kg	463	461 0.5%削減	458 1%削減	456 1.5%削減
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100	100
水総使用量の削減	m3	299	293 2%削減	287 4%削減	281 6%削減
化学物質使用量の削減	kg	22	21 5%削減	20 10%削減	19 15%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2017年～2019年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO2/kWh）を使用した。
（四国電力公表2018年度実績に基づく）

※3 産業廃棄物排出量については工事量の変化により、削減目標設定が困難のため、再資源化を目標とする。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

【短期目的・目標】

○取組期間 2022年1月 ～ 2022年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2022年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	105,576
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh 12,741	12,550
	ガソリン使用量	L 16,899	16,646
	軽油使用量	L 23,349	22,999
	灯油使用量	L 248	244
	LPガス使用量	kg 131	129
一般廃棄物排出量の削減	kg	463	456
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	299	281
化学物質使用量の削減	kg	22	19
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2022年度
電気使用量の削減	kWh	12,741	12,550
ガソリン使用量の削減	L	6,384	6,288
LPガス使用量の削減	kg	131	129
一般廃棄物排出量の削減	kg	463	456
水総使用量の削減	m3	251	236
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2022年度
ガソリン使用量の削減	L	10,515	10,358
軽油使用量の削減	L	23,349	22,999
灯油使用量の削減	L	248	244
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	48	45
化学物質使用量の削減	kg	22	19
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100

5. 環境経営計画

○事務所

○取組期間 2022年1月 ～ 2022年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	電気使用量の削減	①緑のカーテンの実施 ②冷房使用時サーキュレーターや扇風機の併用 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃）
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない ③停車時のアイドリングストップの徹底
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③使用済み切手の回収
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施

○現場

○取組期間 2022年1月 ～ 2022年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②重機使用時間短縮化の推進 ③車の乗り合わせ ④停車時のアイドリングストップの徹底
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止
水使用量	節水	①ストップノズルの使用 ②節水啓発ポスターの掲示
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討

6. 環境経営目標の実績

【短期目的・目標・実績】

○取組期間 2022年1月 ～ 2022年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2022年度	実績 2022年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	107,184	105,576	94,310	11%削減	○
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	12,741	12,550	11%増加	×
	ガソリン使用量	L	16,899	16,646	21%削減	○
	軽油使用量	L	23,349	22,999	6%削減	○
	灯油使用量	L	248	244	29%増加	×
	LPガス使用量	kg	131	129		○
一般廃棄物排出量の削減	kg	463	456	418	8%削減	○
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	99		○
水総使用量の削減	m3	299	281	273	3%削減	○
化学物質使用量の削減	kg	22	19	35	84%増加	×
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2022年度	実績 2022年度	目標対比 (%)	評価
電気使用量の削減	kWh	12,741	12,550	13,954	11%増加	×
ガソリン使用量の削減	L	6,384	6,288	2,988	52%削減	○
LPガス使用量の削減	kg	131	129	0		○
一般廃棄物排出量の削減	kg	463	456	418	8%削減	○
水総使用量の削減	m3	251	236	230	3%削減	○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2022年度	実績 2022年度	目標対比 (%)	評価
ガソリン使用量の削減	kWh	10,515	10,358	10,110	2%削減	○
軽油使用量の削減	L	23,349	22,999	21,617	6%削減	○
灯油使用量の削減	kg	248	244	315	29%増加	×
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	kg	100	100	99		○
水総使用量の削減	m3	48	45	43	4%削減	○
化学物質使用量の削減	kg	22	19	35	84%増加	×
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○

全体的な環境経営目標は達成することができたが、一部猛暑日の影響や工事量の変化により使用量が増加し目標を達成することができなかった。

今年の夏は猛暑日が長く続いた影響でエアコン使用時間が増えたため、電気使用量増加につながり目標を達成することができなかった。

長年使用していた社用車トラックを経年劣化のため廃車し、新たに低燃費・低排出ガス認定車を購入し、低燃費タイヤを導入した。また、全社用車にドライブレコーダーを設置したことで、安全運転を心がけるようになり、ガソリン使用量及び二酸化炭素排出量の削減につながった。

昨年に引き続き防除の業務が増え、化学物質使用量が増加となり、目標を達成することが出来なかったが、適切な管理はできている。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

○事務所

○取組期間 2022年1月 ～ 2022年12月

		具体的な取組	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	①緑のカーテンの実施	－	○	○	－	○
		②冷暖房時にサーキュレーターや扇風機の併用	○	○	○	○	○
		③適正温度の維持（夏28℃冬20℃）	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検	○	○	○	○	○
		②余分な荷物を乗せない	○	○	○	○	○
		③停車時のアイドリングストップの徹底	○	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底	○	○	○	○	○
		②ミスプリント防止のため事前確認の徹底	○	○	○	○	○
		③文書電子化	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①ストップノズルの使用	○	○	○	○	○
		②節水啓発ポスターの掲示	○	○	○	○	○
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収	○	○	○	○	○
		②ペットボトルキャップの回収	○	○	○	○	○
		③使用済み切手の回収	○	○	○	○	○
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年もトマトとゴーヤの「緑のカーテン」を実施し、地面や壁から伝わる熱を抑えることができた。適正温度維持のため、冷暖房使用時にサーキュレーターや扇風機を併用し、空気を循環した。 また、全社用車にドライブレコーダーを設置し、安全運転強化とエコドライブに務めた。事故防止サポートとして安全運転診断があり、急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルなど、詳細評価と自分の運転のポイントをすることで安全運転の意識を高めることができた。引き続き安全運転とエコドライブに努めていきたい。
廃棄物	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 社員全員で取り組んでいる両面印刷、裏紙再利用、印刷前のレイアウトや校正の確認作業によりミスプリントが減ってきた。また、現場での打ち合わせには、スマートフォンやタブレットで書類を撮影したものや、電子データを利用することで、今後業務効率化やコスト削減が期待できる。
水使用量	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年は梅雨時期が短く、猛暑日が長く続き花の水やりなどが増えたが、雨水や室外機から出る排水をバケツに溜め、水の再利用に努めたことで目標を達成することができた。 ストップノズルの使用による無駄使いの防止と、節水啓発ポスターの掲示で社員全員の節水意識を高めていきたい。
リサイクル	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 昨年より利用している機密文書リサイクルサービスにより、シュレッダー処理文書量が減り、廃棄ごみが削減され、資源のリサイクル化につながった。 引き続きゴミの分別、資源のリサイクル化を徹底的に図り、資源の無駄遣いを減らしていきたい。
地域社会への貢献	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 当社では、地元中学の職場体験学習や高校・大学のインターンシップなどを積極的に受け入れている。また、地域行事への協力として、クロスカントリー大会に参加・協賛、奉仕活動やボランティア活動、事務所周辺の清掃活動を実施した。 次年度も地域社会の一員として社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたい。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

○現場

○取組期間 2022年1月 ～ 2022年12月

		具体的な取組	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検	○	○	○	○	○
		②重機使用時間短縮化の推進	○	○	○	○	○
		③車の乗り合わせ	○	○	○	○	○
		④停車時のアイドリングストップの徹底	○	○	○	○	○
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底	○	○	○	○	○
		②資材の過剰発注の防止	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①ストップノズルの使用	○	○	○	○	○
		②節水啓発ポスターの掲示	○	○	○	○	○
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う	○	○	○	○	○
		②BT剤（微生物農薬）等を導入する	—	○	○	—	○
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	○	○	○	○	○
		②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討	—	—	—	—	—

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない —：該当なし

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 アイドリングストップの徹底や重機使用時間短縮化など、全体の取り組みが定着している。 また、長年使用していた社用車トラックを経年劣化のため廃車し、新たに低燃費・低排出ガス認定車を購入した。 今後も、これらを継続して維持し更なる消費燃料削減に努める。
廃棄物	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 廃棄物分別徹底の取り組みとして、2人1組1週間交代で行うゴミ収集当番制を取り入れた。社員全員が関わることで、1人1人が廃棄物分別や削減の意識を高めることができた。 引き続き継続し、廃棄物を減らすよう努力する。
水使用量	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年は梅雨時期が短かったが、水やりは地下水を使用したことで、上水の使用量を抑えることができた。 次年度も可能な限り地下水を使用するとともに、上水使用時の節水を心がける。
化学物質	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年度も防除の業務が増え、前年度より更に化学薬剤使用量が増加し、目標を達成することができなかった。 今後も安全性の高いBT剤の使用を勧める。
剪定・除草 ゴミの 再資源化 (組織本来 の取組)	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 リサイクル業者への持ち込みを継続し、再資源化の徹底に努めている。 芝の堆肥化や薪作りに伐採した木を再利用するなど、資源の循環化を検討する。

7. 次年度環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	96,246 0.5%削減	95,763 1%削減	95,279 1.5%削減
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	438 0.5%削減	436 1%削減	433 1.5%削減
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100	100
水総使用量の削減	m3	276	273 1%削減	270 2%削減	268 3%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2020年～2022年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.527（kg-CO2/kWh）を使用した。
（四国電力公表2021年度実績に基づく）

※3 産業廃棄物排出量については工事量の変化により、削減目標設定が困難のため、再資源化を目標とする。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。
化学物質の適正使用量の徹底

【短期目的・目標】

〇取組期間 2023年1月 ～ 2023年12月

〇全体

目的	単位	※1 基準	目標 2023年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	96,246
エネルギー使用量の削減	電気使用量 kWh	13,590	13,522
	ガソリン使用量 L	13,281	13,215
	軽油使用量 L	22,486	22,374
	灯油使用量 L	296	295
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	438
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	276	273
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

〇事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2023年度
電気使用量の削減	kWh	13,590	13,522
ガソリン使用量の削減	L	3,351	3,334
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	438
水総使用量の削減	m3	258	256
地域社会への貢献	回	12	12

〇建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2023年度
ガソリン使用量の削減	L	9,930	9,881
軽油使用量の削減	L	22,486	22,374
灯油使用量の削減	L	296	295
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	18	17
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100

7. 次年度環境経営計画

○事務所

○取組期間 2023年1月 ～ 2023年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	電気使用量の削減	①緑のカーテンの実施 ②冷暖房使用時サーキュレーターや扇風機の併用 ③適正温度の維持
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミสปリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化
水使用量	節水	①雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③使用済み切手の回収
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施

○現場

○取組期間 2023年1月 ～ 2023年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②重機使用時間短縮化の推進 ③車の乗り合わせ ④機材の電動化
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
化学物質	化学物質の適正使用量の徹底	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する ③残液のないよう必要量だけ調合する
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討

8. 環境法規制等遵守 チェックの確認及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守チェック結果
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、処分	遵 守
	産業廃棄物の投棄禁止、焼却禁止	遵 守
	産業廃棄物の委託処理、マニフェストの交付、保管	遵 守
リサイクル法	建設副産物の発生抑制、再利用、再生利用、再資源化努力	遵 守
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体、再資源化の促進、再生資源の使用	遵 守
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	遵 守
	下請負人に対する元請業者の指導	遵 守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正処理	遵 守
家電リサイクル法	対象4品目の廃家電の適正処理	遵 守
小型家電リサイクル法	対象28品目の廃家電の適正処理	遵 守
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進	遵 守
大 気 汚 染		
オフロード法	特定特殊自動車使用者の責務、使用の制限	遵 守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の適切な設置と簡易点検の実施	遵 守
	フロン類の漏えい時の措置、機器廃棄時のフロン回収	遵 守
大気汚染防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	遵 守
騒 音 ・ 振 動		
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
水 質 汚 濁 （排 水）・土 壌 汚 染		
水質汚濁防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
下水道法	公共下水道への排水基準の遵守	遵 守
浄化槽法	浄化槽保守管理、定期検査	遵 守
	浄化槽からの廃棄物の排出	遵 守
PRTR法	第1種指定化学物質の適正管理	遵 守
農業取締法	農業の使用者の責務、使用規制	遵 守
そ の 他 関 連 法 令		
消防法（危政令）	火気の使用に関する規制	遵 守
労働安全衛生法	労働災害発生の防止	遵 守
	危険物及び有害物に関する規制	遵 守
	労働者就業に当たっての措置	遵 守
香川県環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守
高松市環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

エコアクション21の活動も今年で8年目になった。当初は、「環境」という仕事上日常的に使用しない言葉への違和感や分別などの面倒さから社員も戸惑いながらのスタートだったが、日頃の声掛けや全体会議での周知や張り紙等担当者の努力により各社員の取り組みへの理解度も深まり、今では当たり前のように活動ができるようになってきた。

今年は、電気や灯油の使用量がやや増加という結果であったが、暑さ寒さが厳しい昨今の過酷な状況下で屋外作業をする社員の健康を守ることは事業主として必須との観点から、エアコンやヒーターを適温で稼働することによる使用量増加は致し方ないとも思うので、しばらく様子をみたいと考えている。農薬使用量についても昨年同様作業内容によるので現状特筆すべき問題とはせず、それ以外の実績についても現状ますますとの評価である。

今後は新たに策定した中・長期目標における2023年度の環境経営目標に向け現在の環境経営方針や実施体制を継続しながらも、若年層社員から提案された新しい活動を積極的に取り入れた環境経営計画を策定するなど、全員が参加しているという実感を持つことのできる自主性のある環境経営活動に取り組んでほしい。

2023年1月26日

緑造園興業株式会社

代表取締役 植原 成典

10. 具体的取組内容

●消費電力量の削減に向けた取組●

（緑のカーテン設置）

今年も土壌改良後、トマトとゴーヤの緑のカーテン設置を継続した。建物の南側にグリーンカーテンを設置することで、厳しい夏の日差しのカットや、地面や壁から放出される熱を抑えることができた。



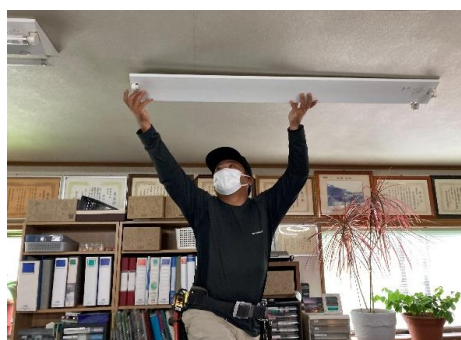
（事務所南側）



（収穫物）

（LED照明器具設置）

事務所内の一部照明器具の古いものを、長寿命で消費電力が少ないLED照明器具に新しく交換した。



（設置状況）

（新制服・スリッパ配布）

夏場の作業が少しでも涼しく快適になるよう吸水速乾素材の半袖ポロシャツと、事務所での冬場の寒さを和らげるための事務所用スリッパを配布した。



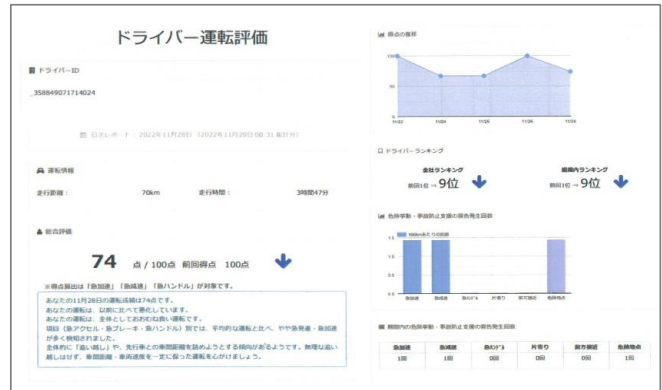
●消費燃料の削減に向けた取組●

（ドライブレコーダー設置）

安全運転強化のため、全社用車にドライブレコーダーを設置した。事故防止サポートとして、危険地点接近警告、片寄り走行・前方車両接近警告、安全運転診断があり、運転中の急ブレーキ、急ハンドル、急アクセルなど詳細評価と運転のポイントを知らることができ、安全運転を心がけることで消費燃料削減にもつながった。



（設置状況）



（社用車購入）

長年使用していた社用車トラックを経年劣化のため廃車し、新たに低燃費・低排出ガス認定車を購入し、低燃費タイヤを導入したことで、さらにガソリン使用量及び二酸化炭素排出量の削減につながった。



（刈払機講習）

刈払作業の安全確保や、刈払機取扱作業者に対する熱中症や振動障害を防止することなどを目的とした「刈払機取扱作業者安全衛生教育」を受講した。この講習で正しい使い方を学び実践することで、消費燃料削減が今後期待できる。



●環境に関する取組●

（高性能ヘルメット購入）

超軽量で通気孔付き高性能ヘルメットを購入した。軽量化により首への負担が軽減され長時間の作業でも疲れが残りにくく、通気孔からヘルメット内部の蒸れが和らぐため夏場の作業時の不快感が軽減され、熱中症予防としても効果があった。



働く人の毎日を変える軽さ

一般的なヘルメットの重量は400g前後ですが、これに対し「AA17V」はわずか270g(単3アルカリ電池5本分に相当する重量差は、毎日長時間着用する方ほど、違いの大きさを実感していただけます。)

AA17V	270g
一般的なヘルメット	400g

(g) 0 50 100 150 200 250 300 350 400 450

強さと軽さの両立

帽体とライナーを「インモールド工法」で一体成型にすることにより衝撃吸収性能はそのままに飛躍的な軽量化を実現。厚生労働省の保護規格「飛来・落下物用」「墮落時保護用」の検定にも合格しているので安心してお使いいただけます！

●地域貢献への取組●

（職場体験・インターンシップの受け入れ）

当社では、地域貢献・次世代育成の一環として地元中学の職場体験学習や、高校・大学のインターンシップなどの受け入れを積極的に行っている。



（地域貢献活動・イベントボランティア活動）

地域行事への協力として、クロスカントリー大会に参加・協賛した。また、ボランティア活動、近隣清掃など地域に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。



（クロスカントリー大会参加）



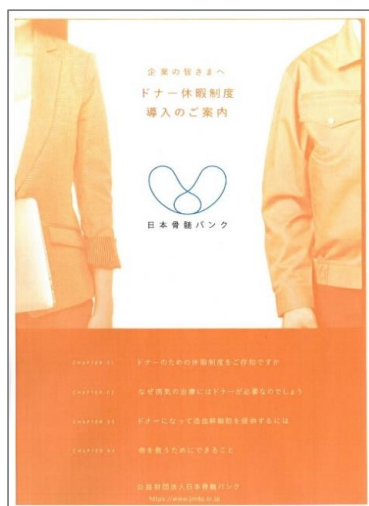
(長尾ライオンズクラブ奉仕活動・桜植樹)



(近隣清掃活動)

(ドナー休暇制度導入)

当社では、ドナーとなって造血幹細胞を提供するために必要な外来受診や入院のために取得する休暇を、有給休暇とは別に、特別休暇の一つとして認め「ドナー休暇制度」を導入した。



●SDGsと環境配慮への取組●



- ・植栽管理
- ・ゴミ分別
- ・リサイクルの推進



- ・剪定・除草ゴミの再資源化



- ・二酸化炭素排出量削減
- ・省エネルギー・省資源



- ・剪定・除草作業
- ・市運動公園指定管理